

▶ 2023. 12. 6 (水)

真夏～っ！

真っ昼間～っ！

あつ～っ！

生徒A子：「なんやねん，
はよ，西へ沈みさせ！
暑くてかなわんがな。」

A子くん，太陽に向かって文句を言っております。

汗をふきふき，とぼとぼと歩いておられますと，

真っ黒な日陰が目に入ります。

生徒A子：「わ～っ，涼しそうやな…
涼ませてもらおか。」

ということで，急いで影の中に入り，しゃがみこんで一休みしております。

そこへ突然頭の上から声が落ちてきました。

「こらっ，われ，なしておらの家の影を使っておるんじゃ！」
おどろいて見上げると，頭のはげあがったじじいが，にらみつけております。

生徒A子：「ん！？
ここは天下の公道だがや。なして，あんたの許可が必要なん？」

じじい：「おらの家が作っておる影だで，その影はおらのもんだ。ただで使っちゃいかん！」

生徒A子：「お金払うから，少しここにおいてよ。」

じじい：「うむ，
じゃあ，おいてやる。」

生徒A子：「じゃあ，お金はらうよ。」
と，さいふから小銭を何枚かとりだし，
それを両手の中に入れて勢いよく振ります。

”じゃら，じゃら，じゃら”

生徒A子：「はい，お金，払ったからね。」

じじい：「…ん！？？？」

このじいさん，”うなぎ屋の前で，うなぎのにおいでごはんを食べる”落語を知りませんので，この事態を理解できません。

生徒A子の勝ち！！！！